

宇治市観光振興計画アクションプランの今後の進め方

戦略	アクションプラン	事業内容	実施主体	目標年度等	平成26年度実績	平成27年度実績及び予定	今後の取り組み
1. 宇治茶ブランド活用戦略							
1-1 宇治茶に染める観光の推進							
宇治茶	JR宇治駅を降りたら「お茶の香り」の演出	JR宇治駅前観光案内所内にお茶を焙じる機械を設置し、茶どころ宇治ならではの香りの演出をします。	観光協会 行政	26実施 継続中	・平成26年9月からJR宇治駅前観光案内所にて本格実施 ・JR宇治駅構内での実施を依頼	・平成26年9月からJR宇治駅前観光案内所、及び観光センターにて継続実施中 ・JR宇治駅の取り組みとして、宇治駅構内にて新茶の季節に香り出し機設置中(土日、及び各月8日)	観光客からは「良いお茶の香りがする」という声があり、今後も引き続き実施していきたい。
宇治茶	宇治茶を活かしたサービスや宇治茶のまちを感じさせる演出	宇治茶を感じさせる演出や給茶スポットの設置等、宇治茶を活かしたサービスや演出を進めます。	事業者等 観光協会 行政	継続	・「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」を制定 ・地元観光事業者や商店街、茶業関係者にて構成される「平等院鳳凰堂落慶記念事業実行委員会」にて、平成26年4月5日から5月6日までの土日祝にJRと京阪の両宇治駅前にて「無料茶接待と宇治茶一煎パックの配布」を実施 ・平成26年10月5日に宇治茶まつり実施	・【新規】京都文教大学の協力による「宇治茶接待・観光キャンペーン」を夏～秋頃に市外にて実施予定 ・【新規】4月より宇治観光ボランティアガイドクラブによる「宇治茶巡りガイドツアー」開始 ・文教大学、府茶協同組合、宇治観光まちづくり会社、観光協会により、4月土日、及び5月GWに宇治茶無料接待を実施 ・宇治茶まつり継続実施(平成27年10月4日実施予定)	宇治茶接待でのお出迎えは観光客から好評を得ており、今後も時期を捉えて協働実施していきたい。また市外においても実施し、誘客に繋げていく必要がある。 宇治茶巡りガイドツアーについては、毎回ほぼ定員に達するような状況であり、「お茶の京都」「日本遺産」との連携についても検討していきたい。
宇治茶	市営茶室・対鳳庵での高級茶の提供	市営茶室・対鳳庵で通常茶と高級茶の2種類のお茶を提供し、それぞれの良さを味わえる取り組みを検討します。	観光協会 行政	26実施 継続中	・平成26年4月より濃茶と薄茶、玉露と煎茶のセットメニュー及び、お点前体験メニューを追加 ・26年度入席者数:22,335人(前年比157%)対鳳庵開席以降最多 ・22,335人うち、外国人5,499人(全体の3割)	・追加メニュー広報の継続実施	提供メニューも増え、平成26年度は過去最高の入席者数となった。今後は新メニューの定着に向けて引き続き広報を行っていくとともに、宇治市観光協会、宇治市茶道連盟との連携を密にして取り組んでいきたい。
宇治茶	宇治茶の郷づくり構想の推進	京都府の宇治茶の郷づくり構想の推進により、宇治茶の歴史や文化、景観など各種資源や体験などを結び付け、宇治茶歴史街道を活用した観光誘客に努めます。	事業者等 観光協会 行政	継続	・宇治茶の郷づくり協議会の事業として、「宇治茶歴史街道ウォーク」の実施、「宇治茶カフェ」認定店舗によるスタンプラリーの実施、将来の宇治茶ファンを育てる「お茶育」の推進にかかるイベントを実施	・宇治茶の郷づくり協議会の事業として、「宇治茶歴史街道」の活用、「宇治茶カフェ」の利用拡大支援、「お茶育」の推進にかかるイベントの実施や、「宇治茶ムリエ」の育成、「日本遺産」を通じた地域活性事業の推進を予定	「日本遺産」に認定されたことを受け、新たな取り組みを実施する必要がある。
宇治茶	舟茶席の啓発	お茶どころ宇治だからこそ味わえる、宇治川とお茶席とのコラボレーションである舟茶席の魅力の啓発に努めます。	観光協会	29 利用者増	・「舟茶席」を市のHPに掲載 ・NHK京都放送局制作の地方ドラマ内において放映された ・春の実績...3団体、計59名、秋の実績11団体、計579名	・春の実績...計13名 ・秋の実施期間は、10月～11月	よりイメージが湧くようなPRを実施できるよう改善していく必要がある。
宇治茶	宇治茶の歴史・文化を伝える施設の整備	史跡宇治川太閤堤跡歴史公園の中で、茶摘み等ができる施設や、宇治茶の歴史・文化を紹介する情報発信施設を整備します。	行政	29 設計・整備	・施設の事業内容の検討を行い、事業者の募集に向けて資料作成に取り組み始めた。国の補助金申請のため「宇治橋周辺地区都市再整備計画」を作成。	・(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園整備運営事業の実施方針の策定、及び公表	PFI方式による民間活力を活用した効率的かつ効果的な整備・運営の実現に向けて取り組んでいきたい。

戦略	アクションプラン	事業内容	実施主体	目標年度等	平成26年度実績	平成27年度実績及び予定	今後の取り組み
宇治茶	宇治茶に関する情報発信の強化	全国に向けて宇治茶の情報発信をするとともに、茶摘みやお点前等の宇治茶体験施設や宇治茶スイーツマップ等、宇治茶に関する着地型情報の発信を強化します。	事業者等 観光協会 行政	継続	<ul style="list-style-type: none"> 京都府山城広域振興局にて、「京都やましろスイーツパスポート」を立命館大学と連携して発行(発行部数2万部) 宇治茶の郷づくり協議会により、「宇治茶の郷メールマガジン」を発行 京都府において、「お茶の京都」クーポン付パンフレットを発行(発行部数10万部) 宇治市観光パンフレットを改定し、宇治茶のページを充実(印刷部数7万部) 	<ul style="list-style-type: none"> 宇治茶の郷づくり協議会の事業として、各種事業を展開予定 「お茶の京都」推進事業として、宇治茶の歴史や文化をテーマとしたツアーの実施、ホテルでの宇治茶のおもてなし、旅行雑誌を活用した情報発信等 	今後も広報宣伝の中に宇治茶や宇治茶スイーツに関する情報を取り入れて、積極的に情報発信していく必要がある。国内向け、インバウンド対策のいずれの情報発信においても、宇治茶の記事を掲載するとともに、HPやSNSにおいても宇治茶の魅力を発信していきたい。

1 - 2 宇治茶を活かした新たな食文化の開発・提供

宇治茶	宇治茶を使ったスイーツコンテストの実施、新しい名物の開発	宇治茶を使ったスイーツコンテストを実施し、新しい宇治の名物となるお土産品等の開発に努めます。	事業者等	継続	<ul style="list-style-type: none"> 「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテスト実行委員会により、第2回「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテストin宇治を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテスト実行委員会により、4月4日に第3回「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテストin宇治を開催 	宇治ならではの取り組みとして定着するよう、実行委員会の取り組みを引き続き支援していく必要がある。
宇治茶	「宇治の朝」の魅力を体感できる宿泊プランの検討	朝霧のかかる宇治川沿いを歩くなど神秘的な体験と、宇治茶を活用した朝食にスポットを当てたプランを検討します。	事業者等	27 実施	<ul style="list-style-type: none"> 朝食にスポットを当てたプランについて、旅館組合で検討 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食にスポットを当てたプランについて、旅館組合で検討 	引き続き旅館組合等事業者に検討いただくとともに、「宇治の朝」の魅力を視覚的に発信していく必要がある。
宇治茶	宇治茶を使ったご当地グルメの開発	既成概念にとらわれない、宇治茶を使った新しいご当地グルメを開発し、一同に集めた販売等を検討します。	事業者等	27 合同販売	<ul style="list-style-type: none"> 【新規】宇治商工会議所によるご当地グルメ開発委託事業の実施(有志事業者)(2月18日に説明会、3月18日に第1回ワークショップを実施) 「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテスト実行委員会により、第2回「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテストin宇治を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 宇治商工会議所によるご当地グルメ開発委託事業の継続実施(有志事業者)(4月22日に第2回ワークショップ、5月27日に第3回ワークショップを実施し、計5回を実施予定) 「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテスト実行委員会により、4月4日に第3回「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテストin宇治を開催 	引き続き、グルメ開発に取り組んでいただく。商品化に向けて取り組み、新たな宇治の名物として販売されることを目標としたい。

1 - 3 宇治茶を守り、後世に伝える事業の推進

宇治茶	“宇治茶”の世界遺産登録に向けた取り組み	宇治茶を後世に伝え宇治茶ブランドの価値を高めるため、茶業関係者を中心に地域全体で取り組みを進め、“宇治茶”の世界遺産登録を目指します。	事業者等 市民 行政	継続	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年10月5日宇治茶まつり開催 宇治茶の世界文化遺産登録推進プラットフォームによる、NPOと連携した宇治茶の認知、普及活動 	<ul style="list-style-type: none"> 国内の「世界文化遺産暫定リスト」入りをめざし、5月末に文化庁へ提案書提出 宇治茶の世界文化遺産登録推進プラットフォームによる、NPOと連携した宇治茶の認知、普及活動 	宇治茶の世界文化遺産登録推進プラットフォームに参画し、地域一体となった取り組みを推進する必要がある。
宇治茶	宇治茶の消費拡大に向けた取り組み	宇治茶の消費拡大を図るとともに、市民が宇治茶を楽しむ機会の拡充に努めます。	事業者等 行政	継続	<ul style="list-style-type: none"> 「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」や「市民茶摘みのつどい」等の各種イベントでのお茶の無料接待、キャンペーンの実施、宇治茶まつり、条例制定記念「碾玉」ふるまい 	<ul style="list-style-type: none"> 【新規】市内産宇治茶ブランド化推進事業として、27年度に委託実施 【新規】宇治茶おもてなし推進事業として、市内外での茶接待や、市役所職員向けのお茶の淹れ方研修、庁内会議等にて宇治市産茶葉を使用したお茶を提供すること等の取り組みを実施 	各年齢層において宇治茶の喫茶が定着するよう、教育サイドの取り組みをはじめ、宇治茶の無料接待など、宇治茶試飲の機会拡大に努めたい。

戦略	アクションプラン	事業内容	実施主体	目標年度等	平成26年度実績	平成27年度実績及び予定	今後の取り組み
2. 豊富な観光資源の保全・活用戦略							
2-1 世界遺産等の歴史遺産の活用							
観光資源	世界遺産ブランドとの連携	世界遺産である平等院と宇治上神社が持つ文化的な価値を保全するとともに、そのブランド力と連携した集客に努めます。	事業者等観光協会 行政	継続	・地元観光事業者や商店街、茶業関係者にて構成される「平等院鳳凰堂落慶記念事業実行委員会」にて、平等院落慶、平等院落成、宇治上神社奉祝のぼりを設置 ・平成26年10月30日に、平等院及び、宇治市観光協会、宇治市茶生産組合の協力のもと、市民向け「平等院夜間拝観と市内産抹茶による接待」を実施(募集人数2,142人のうち、200名を招待)	・【新規】香港ウォーカー・台湾ウォーカーへの記事掲載(平等院、宇治市の共同掲載) ・【新規】宇治市観光協会による、宇治版ブックインブック作成(「ことりっぴ」を予定)の支援 ・宇治上神社の協力のもと、宇治上神社夜間拝観と宇治茶接待を予定	旅行雑誌やパンフレットへの記事掲載や、市民観光ディの取り組みによる市民に向けた魅力発信等の取り組みによって、より連携を深めていきたい。
観光資源	豊富な歴史遺産の活用	市内には黄檗山萬福寺や三室戸寺のほか多数の社寺仏閣があります。それぞれの特徴や歴史、ストーリーを活かした観光振興や周遊性を高める取り組みを検討します。	事業者等観光協会 行政	継続	・各社寺等に関する情報収集や連携・調整	・各社寺等に関する情報収集や連携・調整	各社寺との連携を深め、四季折々の各社寺の魅力をタイムリーに情報発信する必要がある。
2-2 自然・景観の保全・活用							
観光資源	宇治橋上流景観の保全・整備	宇治市を代表する景観の一つである宇治橋上流の景観を保全しつつ、防災や観光振興の観点から国が実施している宇治川の改修事業を推進します。	行政	27完成 延期 30完成	・国土交通省による宇治川改修事業について、塔の島地区の整備に関するアンケート結果を踏まえた整備計画の策定 ・宇治市観光協会と宇治観光まちづくり会社の共催にて宇治川サクラプロジェクトを実施し、宇治川右岸朝霧緑地伐採等を実施	・宇治市観光協会と宇治観光まちづくり会社の共催による宇治川サクラプロジェクトとして、冬の時期に植樹を実施予定	引き続き、宇治川サクラプロジェクトに対する支援を行っていく必要がある。
観光資源	歴史的風致の維持向上に資する事業の推進	宇治の風情を守り後世に引き継ぐため、歴史的風致維持向上計画に基づく各種事業を推進します。	事業者等観光協会 市民行政	継続	・施設の事業内容の検討を行い、事業者の募集に向けて資料作成に取り組み始めた。国の補助金申請のため「宇治橋周辺地区都市再整備計画」を作成。	・(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園整備運営事業の実施方針の策定、及び公表	ハード整備とともに地域一体となったソフト事業を推進し、歴史的風致の維持向上に努める必要がある。
観光資源	大吉山公園の再整備	市街地が見渡せる大吉山の展望台や休憩施設等の再整備を検討します。	行政	26 未了	・関係課による調整・検討	・関係課による調整・検討	展望台からの良好な眺めを維持するため、引き続き樹木剪定等を必要に応じて実施するとともに、関係課との協議を進め、大吉山からの展望の魅力を発信する必要がある。
2-3 源氏物語のまちづくりの推進							
観光資源	源氏ろまん事業をはじめとする源氏物語関連事業の推進	源氏ろまん事業をはじめ、これまで進めてきた源氏物語のまちづくりを推進していきます。	事業者等観光協会 市民行政	継続	・宇治十帖スタンプラリー、紫式部文学賞・紫式部市民文化賞の贈呈式等、源氏ろまん事業を実施	・宇治十帖スタンプラリー、紫式部文学賞・紫式部市民文化賞の贈呈式等、源氏ろまん事業を実施	引き続き、今までの源氏ろまん事業を推進しつつ、新しい提案や事業内容があれば取り入れていきたい。

戦略	アクションプラン	事業内容	実施主体	目標年度等	平成26年度実績	平成27年度実績及び予定	今後の取り組み
観光資源	源氏物語ミュージアム集客対策の強化	源氏物語の魅力を観光客にもわかりやすくPRするとともに、各種イベント等との連携を図り集客力の強化に努めます。	行政	継続	・企画展等を通じてミュージアム独自の集客強化 ・商店街等との連携による集客強化	・情報発信の強化とインバウンド対応の強化 ・京都市嵐山の時雨殿と連携による共同企画展を実施(9/30-11/29)	現在の事業に加え、観光客に向けた誘客強化にも努めたい。

3. 観光コンテンツの開発と魅力向上戦略

3-1 新たな観光コンテンツの開発

魅力向上	史跡宇治川太閤堤跡歴史公園の整備	太閤堤の遺構の再現展示や宇治茶に関する体験施設、歴史・文化を紹介する施設の整備とともに、来訪者が憩える広場や休息施設を備えた公園を整備します。	行政	29 設計・整備	・「(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園整備とその周辺のまちづくり」、「宇治橋周辺地区都市再生整備計画」を作成	・(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園整備運営事業の実施方針の策定、及び公表	PFI方式による民間活力を活用した効率的かつ効果的な整備・運営の実現に向けて取り組んでいきたい。
魅力向上	舟運活用の研究	大阪城から伏見を伝い、宇治までの舟運航路の研究や舟運観光の可能性を検討します。	事業者等 観光協会 行政	27 方針決定	・舟運活用に向けた課題等の整理	・舟運活用に向けた課題等の整理	船上からの風景を視覚化するなどして、舟運の魅力と課題を引き続き検討する必要がある。
魅力向上	「宇治の朝」の魅力を感じられる宿泊プランの検討(再掲)	朝霧のかかる宇治川沿いを歩くなど神秘的な体験と、宇治茶を活用した朝食にスポットを当てたプランを検討します。	事業者等	25 実施	・朝食にスポットを当てたプランについて、旅館組合で検討	・朝食にスポットを当てたプランについて、旅館組合で検討	引き続き旅館組合等事業者に検討いただくとともに、「宇治の朝」の魅力を視覚的に発信していく必要がある。
魅力向上	歴史・ストーリーを活用した観光振興	宇治市にまつわる歴史・ストーリーや市街地として国内で初めて国選定を受けた文化的景観のまち並みを活用した新しい観光コース等を作成します。	観光協会 市民 行政	26実施 継続中	・宇治観光ボランティアガイドクラブの協力のうえ、宇治茶に関する観光コースについて検討	・【新規】4月より宇治観光ボランティアガイドクラブによる「宇治茶巡りガイドツアー」開始 ・【新規】観光サイン再整備計画の策定(現在プロポーザルによる業者選定中)	茶巡りガイドツアーは毎回ほぼ定員に達する状況であり、好評を得ている。今後は「お茶の京都」「日本遺産」との連携を深める必要がある。また、他のテーマによるツアーも検討したい。
魅力向上	観光動画コンクールの実施	四季折々の宇治市の素晴らしい風景や各種イベント等の動画を募集、コンクールを行い、優秀作品については観光PRに活用します。	観光協会 市民 行政	26実施 継続中	・平成26年11月15日に、市の魅力発信にかかる高校生動画コンクール実施(申込件数:23件)	・第2回動画コンクールを実施予定	引き続き動画コンクールを開催することで、若い感性による宇治の魅力発信に努め、観光PRのためのコンテンツとして活用したい。

戦略	アクションプラン	事業内容	実施主体	目標年度等	平成26年度実績	平成27年度実績及び予定	今後の取り組み
魅力向上	フィルムコミッションの設立	映画やテレビドラマ、CM等のロケ撮影を支援し、映像化による宇治市のイメージアップを図ります。	事業者等観光協会行政	27支援	・平成26年7～9月にNHK京都発地域ドラマ「鶺鴒いに恋した夏」の制作協力 ・アニメ「響け！ユーフォニアム」の視察協力 ・ロケスポット京都との連携	・【新規】4月から放送中の宇治市を舞台としたアニメ「響け！ユーフォニアム」をテーマとし、京都文教大学や観光事業者と連携した取り組みを検討 ・日本テレビ「満天 青空レストラン」のロケ協力(6月13日放送予定)	NHKドラマやアニメ、その他テレビ番組等の作品には協力を行ってきている。京都市や府下市町村との繋がりを持てる「ロケスポット京都」との連携を深め、今後も市内ロケ地情報を増やしていく必要がある。
魅力向上	スポーツ観光の推進	太陽が丘との連携や宇治川周辺道路を活用したランニング、ウォーキング等の取り組みを推進します。	観光協会行政	27方針決定	・「宇治茶と源氏物語」スイーツイベント実行委員会と宇治観光土産品組合の共催による太陽が丘での各種イベント・スイートリレーマラソン等を通じた連携(589チーム、4,400人参加) ・「宇治茶と源氏物語」スイーツイベント実行委員会により、第2回ドラゴンポート大会の開催(44チーム、約530人参加) ・宇治川マラソン大会の実施(2860人参加)	・「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテスト実行委員会により、4月19日に第3回スイートリレーマラソンを開催(645チーム、4,500人参加) ・「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテスト実行委員会により、5月10日に第3回ドラゴンポート大会を開催(48チーム、約576人参加) ・バダス、サウンドクリエイター、FMKYOTO主催により、7月4日、5日に京都大作戦を開催(来場者数約2万人) ・宇治川マラソン大会の実施(約3,000人予定)	スイートリレーマラソンやドラゴンポートは今年で3回目の開催となるなど、市内において様々なスポーツイベントが近年開催されている。各イベントが宇治ならではのイベントとして定着するよう支援を行う必要がある。

3 - 2 歩く宇治観光の推進

魅力向上	宇治川沿いや塔の島等へのベンチ等の設置	歩いて宇治を散策されている方が、ほっと一息をつける場所の増設を検討します。	行政	27完成 延期 30完成	・宇治川改修に伴う宇治公園の改修に際して憩いの場づくりの要望を検討	・宇治川改修に伴う宇治公園の改修に際して憩いの場づくりの要望を検討	河川改修工事が長引いているが、この改修を機会としてベンチの設置が行えるよう要望を行う必要がある。
魅力向上	商店街合同のスタンプラリーの実施	観光客の多い中宇治地域の商店街等が連携したスタンプラリーを実施します。	事業者等観光協会	継続	・京阪電車による、京阪電車沿線商店街スタンプラリーの実施 ・宇治商工会議所、商店街による、「3商店街を巡って“おうじちやまグッズ”をもらおうキャンペーン」(10月)、「おうじちやまスタンプラリー」(1月)の実施	・3商店街主催による合同企画、「おうじちやまスタンプラリー」実施を検討	これまでから商店街が主体となって様々なスタンプラリー企画を実施されており、今後も引き続き実施のお願いをするとともに、支援を行う必要がある。
魅力向上	周遊性を高めるための仕掛けの検討	主要な観光スポットだけでなく、商店街周辺を歩いてもらうような仕掛け等を検討します。	事業者等観光協会行政	継続	・平等院表参道商店街企画による「藤の花展示」、宇治橋通企画による「ええもんわんさか市」、「笑顔がいっぱいわんさかフェスタ」の実施 ・地元観光事業者や商店街、茶業関係者にて構成される「平等院鳳凰堂落慶記念事業実行委員会」にて、平等院落慶、平等院落成、宇治上神社奉祝のぼりを設置 ・京都府において、「お茶の京都」クーポン付パンフレットを発行(発行部数10万部)	・3商店街主催による合同企画、「おうじちやまスタンプラリー」実施を検討	「お茶の京都」や「日本遺産」との連携を深めることで、周遊性を高める取り組みを検討したい。

3 - 3 観光事業者(商店街・個店)の魅力向上の推進

魅力向上	観光商店街の活性化	地元住民だけでなく観光客をターゲットにした商店街等の魅力を高め、まち歩きを楽しんでいただける商店街づくりを通じた地域の活性化を目指します。	事業者等	継続	・平等院表参道商店街企画による「藤の花展示」、宇治橋通企画による「ええもんわんさか市」、「笑顔がいっぱいわんさかフェスタ」の実施 ・地元観光事業者や商店街、茶業関係者にて構成される「平等院鳳凰堂落慶記念事業実行委員会」にて、平等院落慶、平等院落成、宇治上神社奉祝のぼりを設置 ・京都府において、「お茶の京都」クーポン付パンフレットを発行(発行部数10万部)	・平等院表参道商店街企画による「藤の花展示」、宇治橋通企画による「ええもんわんさか市」、「笑顔がいっぱいわんさかフェスタ」を実施予定	免税店やWi-Fiの整備に対する補助を行うことで、地域の活性化を支援していきたい。 また、「お茶の京都」や「日本遺産」との連携を深めることで、周遊性を高める取り組みを検討したい。
------	-----------	---	------	----	--	--	--

戦略	アクションプラン	事業内容	実施主体	目標年度等	平成26年度実績	平成27年度実績及び予定	今後の取り組み
魅力向上	魅力的なお土産・食事の開発強化	各店舗において、魅力的なお土産やお食事のメニューの開発強化に努めます。	事業者等	継続	・[新規]宇治商工会議所によるご当地グルメ開発委託事業の実施(有志事業者)(2月18日に説明会、3月18日に第1回ワークショップを実施) ・「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテスト実行委員会により、第2回「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテストin宇治を実施	・宇治商工会議所によるご当地グルメ開発委託事業の継続実施(有志事業者)(4月22日に第2回ワークショップ、5月27日に第3回ワークショップを実施し、計5回を実施予定) ・「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテスト実行委員会により、4月4日に第3回「宇治茶と源氏物語」スイーツコンテストin宇治を開催	引き続き、グルメ開発に取り組んでいただく。商品化に向けて取り組み、新たな宇治の名物として販売されることを目標としたい。
魅力向上	異業種間連携等による割引サービスの実施	各商店街をはじめ、駐車場、鉄道事業者、寺社仏閣、宿泊施設等に協力を得て、セット券等割引サービスの普及に努めます。	事業者等 観光協会	継続	・実態把握に向けて観光協会等と調整 ・京阪電車による1dayチケットの販売(H26年4月1日～H28年3月31日)、「宇治・伏見 水と歴史のクイズラリー」の実施	・実態把握に向けて観光協会等と調整 ・京阪電車による1dayチケットの販売(H27年4月1日～H28年3月31日)	イベント時や事業者企画での割引サービスはあるが、通年・市全体での割引サービスを実施できていないのが現状である。事業者の協力を得て、実現に向けた検討を行う必要がある。
魅力向上	各店独自の情報発信力の強化	各店舗がそれぞれ個性的で行ってみたいと思わせるHPやフェイスブック等の作成に力を入れるとともに、取材等には積極的に対応し、情報発信に努めます。	事業者等	継続	・各店舗における情報発信の実施。	・各店舗における情報発信の実施。	効果的な情報発信の手法について知識を得る機会を設けられるよう努めたい。

4.おもてなしの心を持った人材育成・環境整備戦略

4-1 おもてなし力・市民意識の向上

おもてなし	観光ボランティアガイドの有効活用	観光ボランティアガイドの活動を支援するとともに、観光客の生の声を観光協会、事業者等に伝え、情報共有に努めます。	事業者等 観光協会 市民行政	継続	・平成26年5月3日～6日のGW期間中に、京阪宇治駅で臨時案内所を設置 ・宇治観光ボランティアガイドクラブによる第5期生の養成	・[新規]4月より宇治観光ボランティアガイドクラブによる「宇治茶巡りガイドツアー」開始	市と宇治観光ボランティアガイドクラブとの情報共有を強めるとともに、宇治市観光協会を通じ、各店舗への観光客の生の声の情報発信ができる形を模索する。
おもてなし	「(仮)市民観光デー」の制定	市民に宇治市の良さを知ってもらい、ふるさと意識や観光客を歓迎する意識の醸成を図るため、各施設やお店で市民割引を設ける等官民一体となった取り組みを行います。	事業者等 観光協会 市民行政	27 実施	・平成26年10月30日に、平等院、宇治市観光協会、宇治市茶生産組合の協力のうえ、市民向け「平等院夜間拝観と市内産抹茶による接待」を実施	・宇治上神社の協力のもと、宇治上神社夜間拝観と宇治茶接待を予定	寺社だけではなく「観光宇治」を市民に実感してもらえるようなコンテンツの掘り起しが必要。また、観光事業者との連携も進めていく必要がある。
おもてなし	市民向け宇治の魅力体験講座等の拡充	市民が宇治市の魅力を体感し理解を深めていただける講座等を拡充し、おもてなし意識の啓発に努めるとともに、市民が観光まちづくりに参画できるような仕組みづくりについて検討します。	観光協会 市民行政	継続	・ボランティアガイドによる「ガイドが語るやさしい宇治の歴史」講座、鳳凰大学「観光宇治のあゆみ」(講師として、宇治観光ボランティアガイド参加) ・平成26年10月30日に、平等院及び、宇治市観光協会、宇治市茶生産組合の協力のもと、市民向け「平等院夜間拝観と市内産抹茶による接待」を実施	・宇治上神社の協力のもと、宇治上神社夜間拝観と宇治茶接待を予定	平成26年度に実施した、市民向け「平等院夜間拝観と市内産抹茶による接待」は多くの市民の方に関心をいただき、好評であった。このような宇治の魅力体験の機会は、今後も設けていきたいと考える。また、各観光団体との連携を深め、情報の把握に努めていきたい。

戦略	アクションプラン	事業内容	実施主体	目標年度等	平成26年度実績	平成27年度実績及び予定	今後の取り組み
おもてなし	学校教育における、宇治の歴史や文化、観光に触れる機会の強化	学校教育の中で、宇治の歴史・文化、また観光の重要性について啓発していきます。	観光協会 市行政	継続	・京都文教大学開催の、ともいきフェスティバルにて宇治学の成果を発表 ・各小学校において茶協同組合による茶香服体験や宇治観光ボランティアガイドクラブによる講座等を実施	・総合的な学習の時間「宇治学」において、小学校3年生「宇治茶」6年生「大好きなまち宇治(観光等)」をテーマに副読本作成 ・宇治で育ち宇治の将来を担う本市の児童生徒に宇治茶とおもてなしの心を養う学習を進められるよう、各小学校に抹茶茶碗、抹茶等を配布する。	「宇治学」を通じ、宇治の自然、歴史、文化を学び、「ふるさと宇治」に誇りを持ち、また地域や社会の一員としての自覚を持った「あすの宇治」をつくる人材となるよう教育の充実に努めたい。
おもてなし	インバウンド対策の強化	訪日外国人観光客(インバウンド)対策として両替サービスや通訳サービスのほか、協議会の設立等、総合的な対策を進めていきます。	事業者等 観光協会 行政	26 実施	・宇治市観光協会による、香港現地旅行エージェントへのプロモーション、春節の駅前コンシェルジュの実施	・宇治商工会議所、宇治市観光協会による、台湾でのキャンペーン実施(4月17日～21日) ・【新規】香港ウォーカー・台湾ウォーカーへの記事掲載(平等院、宇治市の共同掲載) ・【新規】「おもてなし京都・宇治」観光パンフレット英語版作成 ・【新規】観光協会におけるインバウンド対策人材雇用の活用	免税店の開業支援やWi-Fi整備、観光案内サインの外国語表記など、受け入れ態勢の充実を図っていく必要がある。
おもてなし	おもてなし講座や優良おもてなし認定制度の検討	店舗等のおもてなし力アップに向けた講座の実施や優良おもてなし認定制度等の発足を検討します。	事業者等 観光協会	26 実施	・観光協会による、消費税免税店開業に向けた支援(15店舗)	・宇治商工会議所による、おもてなし講座の実施	今後については、外国人観光客への対応の講座など、ソフト面での支援を拡充していく必要がある。

4 - 2 観光案内の充実

おもてなし	観光案内板・道標の再整備	観光案内板等について、外国語表記の追加等再整備のガイドラインを策定し、景観に配慮した整備を行います。	行政	28 整備	・既設案内板の整理も含め、どのような手順で進めていくか検討 ・先進地視察(鳥羽市・京都市)	・【新規】観光サイン再整備計画の策定(現在プロポーザルによる業者選定中)	重複したサインやデザインの不統一が宇治の観光案内サインの課題であり、国・府・市その他団体と調整を図りながら不要なサインの撤去や統一されたデザインの導入などを行う必要がある。
おもてなし	京阪宇治駅周辺における観光案内所の新設	宇治川太閤堤跡に整備する施設内での情報発信機能を含め、京阪宇治駅周辺での観光案内所の新設を検討します。	行政	29 設計・整備	・施設の事業内容の検討を行い、事業者の募集に向けて資料作成に取り組み始めた。国の補助金申請のため「宇治橋周辺地区都市再整備計画」を作成。	・(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園整備運営事業の実施方針の策定、及び公表	PFI方式による民間活力を活用した効率的かつ効果的な整備・運営の実現に向けて取り組んでいきたい。
おもてなし	観光案内機能の強化	観光センターや観光案内所をより観光客が利用しやすい環境整備に努めるとともに、WiFi環境の整備やスマートフォン等を活用した観光案内の充実に努めます。	観光協会 行政	27 実施	・JR宇治駅前観光案内所及び観光センターの看板を目につきやすい表示に更新	・【新規】観光センターにおける案内機能の再整備 ・【新規】店舗のWi-Fi整備への支援	観光センターにおける案内機能の再整備については、効果的な在り方について観光協会と調整を図っていく。 平成27年度より京都府の補助を活用し、Wi-Fiの設置支援を開始したところであるので、今後は更に周知を図り、導入店を増やしていきたい。
おもてなし	民間駐車場での観光案内強化	駐車場における観光案内機能の強化を図り、車での来訪者に対する情報提供の充実に努めます。	事業者等 観光協会 行政	25 実施	・平成25年度に実施した観光ボランティアガイドによる民間駐車場における観光案内の実績を鑑み今後の方向性を検討	・駐車場施設での観光案内パンフ等の配布	駐車場施設での観光案内パンフレット等の配布

戦略	アクションプラン	事業内容	実施主体	目標年度等	平成26年度実績	平成27年度実績及び予定	今後の取り組み
4 - 3 安全・快適に市内を観光できる環境の整備							
おもてなし	交通渋滞解消に向けた検討	交通渋滞解消に向け、パークアンドライドや県通りの一方通行等の社会実験など、交通政策の面からさまざまな取り組みを検討します。	行政	27 方針決定	・民間駐車場等の現状把握を行い、関係課と対策について検討 ・平成26年5月3日～6日のGW期間中に、市役所駐車場無料開放	・市役所駐車場の開放及び、市役所までのルート案内(5月2日～6日実施、秋の観光シーズンにも予定) ・生長の家の協力のうえ宇治市観光協会による臨時駐車場の実施(5月3日～6日)及び、宇治武田病院第3駐車場のHPでの公開 ・【新規】駐車場マップ作成(4月1日～5月31日まで市HPで公開、秋の観光シーズンにも予定) ・【新規】観光交通対策調査(交通政策課)	平成27年度のGWに行った有料駐車場のマップの公開については好評であり、今後も有料駐車場運営会社の協力を頂きつつ、継続していく必要がある。 また、宇治武田病院第3駐車場へのルートが分かりにくく、秋の観光シーズン前にマップの改良と、誘導方法の検討が必要。
おもてなし	観光シーズンにおける駐車場の確保の検討	観光シーズンの駐車場不足を解消するため、市役所駐車場等の活用やさまざまな取り組みを検討します。	行政	26実施 継続中	・平成26年5月3日～6日のGW期間中に、市役所駐車場無料開放	・市役所駐車場の開放及び、市役所までのルート案内(5月2日～6日実施、秋の観光シーズンにも予定) ・生長の家の協力のうえ宇治市観光協会による臨時駐車場の実施(5月3日～6日)及び、宇治武田病院第3駐車場のHPでの公開	平成27年の秋についても、今年度から始めた庁舎駐車場への誘導を継続しつつ、来客用駐車場を保有する施設の事業への協力を求める。
おもてなし	店舗トイレの一般開放制度の検討	観光シーズンのトイレ不足を解消するため、店舗トイレの一般開放制度を検討します。	事業者等 行政	26 実施	・店舗トイレの一般開放に関する研究結果をふまえ、イラストマップにトイレの表記を目立つよう変更	・今後の方向性を検討	平成25年度に行った事業者へのアンケートの結果、「公衆トイレの周知」が不十分である事が浮き彫りとなった。 今後は案内サインへの掲載や分かりやすいマップへの掲載方法などについて検討を進めていく。
おもてなし	安全な観光地づくりの推進	災害時の観光客の避難誘導方法の確立等、安全な観光地としての取り組みを進めます。	事業者等 観光協会 行政	27 実施	・災害時応援協定締結(宗教法人「生長の家」ほか)	・観光地災害マニュアル策定に向けた調査	マニュアルの策定に向け、災害発生時に想定される帰宅困難者についての人数等について、調査を行う。
おもてなし	快適で優しい観光地づくりの推進	観光バリアフリーの取り組みや観光地にふさわしいトイレへの改修等、観光客が快適に過ごせるための取り組みを推進します。	事業者等 観光協会 行政	27 実施	・観光地の公衆トイレの改修について関係課と調整	・観光地の公衆トイレの改修について関係課と調整	観光地のトイレはその場所の「イメージ」に直結しており、対策は重要であることから他市の事例や、トイレ事業者からの情報収集をはかり、対策を検討していく。

戦略	アクションプラン	事業内容	実施主体	目標年度等	平成26年度実績	平成27年度実績及び予定	今後の取り組み
5. 情報発信力向上戦略							
5-1 情報発信力の強化							
情報発信	効果的な情報発信のあり方の検討・実施	全国への情報、近畿圏への情報、宇治に訪訪されてからの情報等、それぞれのニーズに応じた情報発信に努めます。	観光協会 行政	継続	・宇治川の鶴飼の鶴のヒナ誕生(6月29日)、シンポジウムの実施(2月28日) ・おうじちやま、全国ゆるキャラグランプリ5位入賞 ・観光動画「旅の星」の作成支援	・【新規】宇治市観光協会による、宇治版ブックインブック作成(「ことりっぴ」を予定)の支援 ・平等院表参道商店街による「トビケラ対策」のステッカー作成	平成26年度は鶴のヒナ誕生やおうじちやまのゆるキャラグランプリ上位入賞など大きな出来事のおかげで、結果として様々なメディアで宇治の情報が取り上げられる機会が多かった。平成27年度は国の地方創生予算を活用し、全国販売の書籍に宇治市版ブックインブックを作成するなど、宇治のPRに向けて新たな取り組みを推進していく。今後も効果的な情報発信を行っていきたい。
情報発信	時代に合ったICT技術を活用した情報発信	時代に合った新しいICT技術を活用した情報発信を行い、利用者等を通じた情報発信の拡大に取り組みます。	観光協会 市民 行政	継続	・市HPの充実と観光協会フェイスブック等の充実を実施 ・3商店街合同イベントにて情報発信事業を検討 ・宇治市公式フェイスブックの稼働(3月2日より)	・宇治市公式フェイスブックの継続稼働 ・宇治市キャンペーングッズの作成及び活用	平成26年度は3商店街合同によるアプリケーションを活用したイベントの開催など、新たな手法で情報発信を行うことができた。今後も新たなICT技術を活用し、情報発信の拡大に取り組んでいきたい。
情報発信	鉄道事業者や情報媒体への情報提供・連携強化	鉄道事業者や旅行情報誌等を活用し、全国等に向けて宇治の魅力を提供するとともに連携強化に努めます。	観光協会	27 実施	・宇治商工会議所、宇治市観光協会との共同による、JR西日本・京阪・近鉄へ春にトップセールスを実施 ・JRにて春と秋に平等院・宇治上神社についての車内アナウンスを実施 ・京阪電車による、平成26年春「おうじちやまエクスプレス」の運行	・鉄道等関係機関との連携	各種イベント広告について、鉄道事業者への依頼を継続的に行い、連携強化に努める必要がある。宇治の魅力発信とともに立地条件(京都市からの近さ)もアピールしていく必要がある。
情報発信	高速道路のサービスエリアや京都駅等での宇治土産の設置拡充	宇治の土産品を宇治市以外で購入できる場を設け、観光都市・宇治の啓発に繋がっていきます。	事業者等	27 実施	・阪神高速道路株式会社主催による「お京さんと秋さんぽ - 阪神高速京都線に乗って - 」の実施 ・阪神高速道路の協力の下泉大津PAでのパンフレット設置	・NEXCO等との連携検討	事業者の積極的な活動が可能となるよう、情報提供に努める必要がある。
情報発信	京都総合観光案内所「京なび」における宇治観光案内の強化	京都へ来られた観光客を宇治に呼び込むため、「京なび」での宇治の取り扱いの強化を働きかけます。	観光協会 行政	27 実施	・観光協会で作成するポスターの掲示等、宇治への誘客PRの強化	・観光協会で作成するポスターの掲示等、宇治への誘客PRの強化	「京なび」は非常に多くの観光客が利用する観光案内の拠点的施設であり、観光客に宇治に興味を持っていただき、足を運びたいようなパンフレットの陳列やポスター掲示に努める必要がある。
5-2 観光プロモーションの強化							
情報発信	京都・伏見と連携したプロモーションの実施	宇治のお茶、伏見のお酒とそれぞれの特徴を活かした観光プロモーションを、交通事業者等とも連携して実施します。	事業者等 観光協会 行政	継続	・京阪電車による1dayチケットの販売(H26年4月1日～H28年3月31日)、「宇治・伏見 水と歴史のクイズラリー」の実施 ・文教大学でのCOC「地域連携まちづくり研究会」にて検討 ・京都市との意見交換を実施	・京都文教大学と協働したCOC研究 ・伏見稲荷、伏見との連携・企画検討	伏見と宇治のセットでのプロモーション活動を継続して行い、様々な機会に連携した広報活動を行う必要がある。

戦略	アクションプラン	事業内容	実施主体	目標年度等	平成26年度実績	平成27年度実績及び予定	今後の取り組み
情報発信	宇治市版「MICE」の推進	太陽が丘や大学等を目的に来られた来訪者にも宇治の観光を楽しんでいただけるよう連携を図ります。	事業者等観光協会行政	継続	・太陽が丘や大学等を通じて観光パンフレット等を配布してもらうよう依頼	・生き物文化誌学会により、生き物文化誌学会宇治例会が開催された(5月16日) ・太陽が丘実施イベントでの観光PRや宇治茶のPRを実施(スイーツイベント、宇治川マラソン等)	引き続き太陽が丘や大学等を通じて観光情報パンフレット等の配布を依頼する必要がある。
情報発信	宇治茶の郷づくり構想の推進(再掲)	京都府の宇治茶の郷づくり構想の推進により、宇治茶の歴史や文化、景観など各種資源や体験などを結び付け、宇治茶歴史街道を活用した観光誘客に努めます。	事業者等観光協会行政	継続	・宇治茶の郷づくり協議会の事業として、「宇治茶歴史街道ウォーク」の実施、「宇治茶カフェ」認定店舗によるスタンプラリーの実施、将来の宇治茶ファンを育てる「お茶育」の推進にかかるイベントを実施	・宇治茶の郷づくり協議会の事業として、「宇治茶歴史街道」の活用、「宇治茶カフェ」の利用拡大支援、「お茶育」の推進にかかるイベントの実施や、「宇治茶ムリエ」の育成、「日本遺産」を通じた地域活性化事業の推進を予定	「日本遺産」に認定されたことを受け、新たな取り組みを実施する必要がある。
情報発信	JR奈良線の名称変更(愛称設定)の検討	JR奈良線の名称について、より親しみやすい愛称を設定することについて検討します。	事業者等市民行政	27方針決定	・JR西日本へのトップセールスにて愛称設定の検討を要望	・JR奈良線複線化促進協議会の参加団体等と愛称設定の具体化に向けて検討	JR奈良線複線化促進協議会の参加団体等とJR西日本との具体化に向けた意見の集約調整を進めていく。
その他							
		放ち鶴飼プロジェクト	観光協会行政	27検討実施	・宇治市観光協会にて飼育している宇治川の鶴飼のウミウにヒナが誕生し、「うみうのウッティー」として広報活動等実施	・宇治市観光協会にて、手縄を使用せずに行う「放ち鶴飼」の実施を検討	現在は、どの鶴飼開催地でも実施されていない「放ち鶴飼」の実現に向けて、そのプロジェクトの支援を行っていく。